



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ジーンテクノサイエンス
コード番号 4584 URL <http://www.g-gts.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 河南 雅成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO

(氏名) 三ツ木 勝俊

TEL 03-3517-1353

四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	11	334.4	△93	—	△94	—	△95	—
25年3月期第1四半期	2	—	△71	—	△71	—	△72	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△45.60	—
25年3月期第1四半期	△55.44	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高がありますが、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,068	—	831	—	—	39.5
25年3月期	922	—	888	—	—	96.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 816百万円 25年3月期 888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	156	284.9	△381	—	△384	—	△386	—	△183.33
通期	312	415.9	△965	—	△974	—	△977	—	△459.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	2,105,100 株	25年3月期	2,081,100 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	2,094,419 株	25年3月期1Q	1,312,310 株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 平成24年8月8日付で株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 当社は、平成25年8月22日を払込期日とする第三者割当増資を予定しております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該第三者割当増資による増加株式数41,900株を反映して算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第1四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(重要な後発事象)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、昨年末の政権交代以降、デフレ脱却に向けて安倍首相が経済政策「アベノミクス」を打ち出したことで、円安・株高の動きが生まれ、景気回復への期待感が出てまいりました。その後、中国・韓国との関係悪化や中国経済の調整局面、米国経済の出口戦略といった政治経済の両面から影響を受け、やや調整局面に入っております。

このような環境の下、「アベノミクス」の肝となる成長戦略が具体化することで、現状を打破し、今後の日本経済が活性化することが期待されています。この成長戦略の一つの柱として医療分野が掲げられており、京都大学山中教授がノーベル賞を受賞したiPS細胞の実用化に多くの注目が集まっております。しかしながら、一方では、高齢化に伴い年々増加する国民医療費の抑制が大きな課題となっており、ジェネリック医薬品の普及や混合診療の解禁など医薬品業界の規制緩和が必要とも言われております。

当社は、高度医療に用いられる薬価の高いバイオ医薬品のジェネリック（バイオ後続品）を手掛けることで、このような社会的ニーズに応えるとともに、安定的な収益基盤を早期に構築してまいります。その第一弾として、当社が共同開発を進めてまいりましたG-CSFの薬価収載が平成25年5月31日付で行われ、富士製薬工業㈱及び持田製薬㈱の2社により国内販売が開始されました。なお、当第1四半期累計期間における市販用原薬の販売はありませんでしたが、当事業年度における納入計画は予定通りに進捗しております。

一方、バイオ新薬事業におきましては、有望な医薬品シーズの創出を加速化するため、他社との共同研究を積極的に進めてまいります。その成果として、平成25年5月14日付で、バイオ医薬品高産生細胞株の樹立を目的とした共同研究契約を扶桑薬品工業㈱と締結いたしました。なお、当第1四半期累計期間におけるバイオ新薬事業の売上高はありませんでしたが、積極的な共同研究の推進によりライセンスアウトの確度を高めていきたいと考えております。

これらの結果、売上高は11,294千円（前年同期比334.4%増）、営業損失は93,641千円（前年同期は71,331千円の営業損失）、経常損失は94,654千円（前年同期は71,911千円の経常損失）、四半期純損失は95,501千円（前年同期は72,759千円の四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末比124.3%増の2,068,733千円となりました。これは主に、現金及び預金が1,147,990千円増加したことによるものであります。現金及び預金の増加については、転換社債型新株予約権付社債等の発行による資金調達が主な要因であります。

(負債の変動について)

当第1四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末比1,202,766千円増の1,237,186千円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債が1,200,000千円増加したことによるものであります。

(純資産の変動について)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末比6.4%減の831,546千円となりました。これは、新株予約権の行使による資本金及び資本準備金それぞれ12,000千円の増加並びに新株予約権の発行による新株予約権15,040千円の増加があったものの、四半期純損失を95,501千円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年8月5日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	887,428	2,035,419
受取手形及び売掛金	16,833	11,124
その他	14,878	15,852
流動資産合計	919,140	2,062,395
固定資産		
有形固定資産	582	539
無形固定資産	323	313
投資その他の資産	2,382	5,484
固定資産合計	3,288	6,337
資産合計	922,429	2,068,733
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	6,788	2,080
その他	18,122	27,238
流動負債合計	24,910	29,319
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	1,200,000
退職給付引当金	9,510	7,867
固定負債合計	9,510	1,207,867
負債合計	34,420	1,237,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,239,895	1,251,895
資本剰余金	1,143,161	1,155,161
利益剰余金	△1,495,048	△1,590,550
株主資本合計	888,008	816,506
新株予約権	—	15,040
純資産合計	888,008	831,546
負債純資産合計	922,429	2,068,733

(2) 四半期損益計算書
 (第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,600	11,294
売上原価	380	9,684
売上総利益	2,219	1,610
販売費及び一般管理費		
研究開発費	30,871	27,462
その他	42,678	67,788
販売費及び一般管理費合計	73,550	95,251
営業損失(△)	△71,331	△93,641
営業外収益		
受取利息	—	97
営業外収益合計	—	97
営業外費用		
社債発行費等	—	918
株式交付費	580	192
営業外費用合計	580	1,110
経常損失(△)	△71,911	△94,654
税引前四半期純損失(△)	△71,911	△94,654
法人税、住民税及び事業税	847	847
法人税等合計	847	847
四半期純損失(△)	△72,759	△95,501

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

第三者割当による新株式の発行

平成25年8月5日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行について以下のとおり決議いたしました。

① 発行株式の種類及び数	普通株式	41,900株	
② 発行価額	1株につき	4,816円	
③ 発行価額の総額		201,790千円	
④ 増加する資本金及び	増加する資本金	1株につき	2,408円
資本準備金に関する事項	増加する資本準備金	1株につき	2,408円
⑤ 資本組入額の総額		100,895千円	
⑥ 割当先及び割当株式数	伊藤忠ケミカルフロンティア(株)	41,900株	
⑦ 払込期日	平成25年8月22日		
⑧ 資金の用途	バイオ後続品 (GBS-002~009のうち1品目) の研究開発資金		